



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 大林道路株式会社
コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 長谷川 仁
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上村 博紀

TEL 03-3618-6500

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,696	2.5	2,432	24.4	2,441	25.8	1,600	49.0
26年3月期第2四半期	47,532	29.5	1,955	280.4	1,940	281.5	1,073	260.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,618百万円 (46.7%) 26年3月期第2四半期 1,103百万円 (279.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	34.69	—
26年3月期第2四半期	23.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	76,737	30,369	39.6	674.05
26年3月期	79,589	30,952	38.9	666.63

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 30,369百万円 26年3月期 30,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	12.00	12.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 4円00銭
平成27年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 4円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	1.7	6,500	△4.9	6,500	△5.4	4,200	6.1	93.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	46,818,807 株	26年3月期	46,818,807 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,763,020 株	26年3月期	387,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	46,134,821 株	26年3月期2Q	46,501,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	109,000	0.1	6,300	△7.2	6,300	△9.2	3,900	△3.4	86.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. (参考) 個別財務諸表	11
(1) (参考) 四半期貸借対照表	11
(2) (参考) 四半期損益計算書	13
5. 補足情報	14
(1) 連結受注・売上実績	14
(2) 個別受注・売上実績	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が見られましたが、政府の経済対策・金融政策の効果を背景に、雇用・所得環境の改善が続くなど景気は緩やかな回復が続きました。

道路建設業界におきましては、民間の設備投資については緩やかな回復基調が続き、公共投資についても震災復興事業の継続や防災・減災、老朽化対策等のインフラ事業により堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは品質の向上と利益の確保に重点をおき、工事受注量と製品販売量の確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は623億9千2百万円（前年同四半期比1.2%増）、売上高は486億9千6百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

利益につきましては、不採算工事の減少及び業務の効率化に努めたことによる採算性の向上等により、売上総利益は48億7千6百万円（前年同四半期比14.8%増）となり、経常利益は24億4千1百万円（前年同四半期比25.8%増）となりました。

四半期純利益につきましては、16億円（前年同四半期比49.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権の回収が順調に推移したことにより、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ28億5千2百万円減の767億3千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、「支払手形・工事未払金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ22億7千万円減の463億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、自己株式を取得したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億8千2百万円減の303億6千9百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首と比較して6億5千5百万円減少し、96億5千2百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に売上債権の減少により、55億8千1百万円のプラス（前年同四半期は39億7千4百万円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に預け金の預入による支出及びアスファルト混合所設備の更新等の固定資産の取得に伴う支出により、44億5千3百万円のマイナス（前年同四半期は11億6千7百万円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に自己株式の取得による支出及び配当金の支払いにより、17億8千4百万円のマイナス（前年同四半期は4億1千9百万円のマイナス）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想について、平成26年10月21日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。詳細につきましては同書面をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

第1 四半期連結会計期間から、(株)カネナカの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1 四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法について次のとおり変更しました。

(退職給付見込額の期間帰属方法)

期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

(割引率の決定方法)

従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2 四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2 四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が12億2 百万円増加し、利益剰余金が7 億7 千4 百万円減少しています。また、当第2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5 百万円減少しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,308	9,652
受取手形・完成工事未収入金等	43,272	35,496
有価証券	—	20
未成工事支出金	1,209	2,694
材料貯蔵品	515	534
預け金	—	3,000
その他	2,338	2,793
貸倒引当金	△35	△28
流動資産合計	57,608	54,162
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,568	12,736
その他(純額)	6,282	6,176
有形固定資産合計	18,850	18,912
無形固定資産	186	204
投資その他の資産		
その他	3,103	3,607
貸倒引当金	△159	△149
投資その他の資産合計	2,944	3,457
固定資産合計	21,981	22,574
資産合計	79,589	76,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	33,437	28,450
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	1,762	1,005
未成工事受入金	589	3,498
完成工事補償引当金	273	353
工事損失引当金	327	157
その他	4,304	3,874
流動負債合計	42,696	39,339
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,747	1,747
退職給付に係る負債	3,861	5,013
その他	332	266
固定負債合計	5,941	7,027
負債合計	48,637	46,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	18,282	18,551
自己株式	△109	△979
株主資本合計	30,563	29,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	184
土地再評価差額金	150	150
退職給付に係る調整累計額	80	72
その他の包括利益累計額合計	388	407
純資産合計	30,952	30,369
負債純資産合計	79,589	76,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	47,532	48,696
売上原価	43,285	43,820
売上総利益	4,246	4,876
販売費及び一般管理費	2,291	2,444
営業利益	1,955	2,432
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	4	5
デリバティブ評価益	—	15
持分法による投資利益	—	7
その他	11	11
営業外収益合計	18	43
営業外費用		
支払利息	20	29
持分法による投資損失	4	—
その他	8	4
営業外費用合計	33	34
経常利益	1,940	2,441
特別利益		
固定資産売却益	2	1
負ののれん発生益	—	160
その他	0	0
特別利益合計	2	162
特別損失		
固定資産除却損	2	22
その他	0	3
特別損失合計	2	26
税金等調整前四半期純利益	1,939	2,577
法人税、住民税及び事業税	645	912
法人税等調整額	220	64
法人税等合計	865	977
少数株主損益調整前四半期純利益	1,073	1,600
四半期純利益	1,073	1,600

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,073	1,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	26
退職給付に係る調整額	—	△7
その他の包括利益合計	29	18
四半期包括利益	1,103	1,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,103	1,618

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,939	2,577
減価償却費	660	740
負ののれん発生益	—	△160
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△16
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△106	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△50
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	20	29
持分法による投資損益 (△は益)	4	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	10,816	9,834
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△624	△1,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,291	△6,610
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,247	2,643
その他	△1,173	△432
小計	5,468	7,372
利息及び配当金の受取額	15	22
利息の支払額	△20	△29
法人税等の支払額	△1,488	△1,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,974	5,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,142	△1,407
有形固定資産の売却による収入	2	1
投資有価証券の取得による支出	△20	△100
投資有価証券の売却による収入	—	0
投資有価証券の償還による収入	20	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	45
預け金の預入による支出	—	△3,000
その他	△27	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,167	△4,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△80
長期借入金の返済による支出	—	△241
リース債務の返済による支出	△43	△35
自己株式の取得による支出	△4	△869
配当金の支払額	△372	△557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△419	△1,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,383	△655
現金及び現金同等物の期首残高	8,145	10,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,529	9,652

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	40,921	6,610	47,532	—	47,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	3,892	3,895	△3,895	—
計	40,924	10,503	51,427	△3,895	47,532
セグメント利益	2,369	661	3,031	△1,075	1,955

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製造・販売 他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	41,965	6,731	48,696	—	48,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	3,348	3,350	△3,350	—
計	41,967	10,079	52,046	△3,350	48,696
セグメント利益	2,993	569	3,563	△1,130	2,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,130百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△1,130百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「建設事業」及び「製造・販売他事業」セグメントにおいて、(株)カネナカの株式を取得し連結子会社と
したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益160百万円を計上しております。
当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

4. (参考) 個別財務諸表

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,077	9,101
受取手形	6,041	4,306
電子記録債権	130	5,133
完成工事未収入金	32,694	23,857
売掛金	4,298	2,079
有価証券	—	20
未成工事支出金	1,205	2,158
材料貯蔵品	515	527
預け金	—	3,000
その他	2,340	3,009
貸倒引当金	△35	△28
流動資産合計	57,268	53,165
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,568	12,670
その他(純額)	6,238	6,052
有形固定資産合計	18,807	18,722
無形固定資産	185	201
投資その他の資産		
その他	3,049	3,612
貸倒引当金	△159	△149
投資その他の資産合計	2,889	3,462
固定資産合計	21,882	22,387
資産合計	79,151	75,552

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	14,860	13,033
工事未払金	13,301	12,180
買掛金	5,225	3,092
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	1,753	1,004
未成工事受入金	589	3,019
完成工事補償引当金	273	353
工事損失引当金	327	157
その他	4,278	3,825
流動負債合計	42,610	38,666
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,747	1,747
退職給付引当金	3,983	5,123
環境対策引当金	6	5
その他	325	261
固定負債合計	6,062	7,137
負債合計	48,672	45,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	17,888	18,003
自己株式	△109	△979
株主資本合計	30,169	29,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	157	183
土地再評価差額金	150	150
評価・換算差額等合計	308	334
純資産合計	30,478	29,748
負債純資産合計	79,151	75,552

- (注) 1. この四半期貸借対照表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
2. この四半期貸借対照表は、「四半期財務諸表等規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しております。

(2) (参考) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
売上高	47,422	48,243
売上原価	43,191	43,453
売上総利益	4,230	4,790
販売費及び一般管理費	2,252	2,357
営業利益	1,977	2,432
営業外収益	166	46
営業外費用	29	29
経常利益	2,114	2,449
特別利益	2	0
特別損失	2	27
税引前四半期純利益	2,114	2,422
税金費用	861	976
四半期純利益	1,252	1,446

- (注) 1. この四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
2. この四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しておりますが、科目の区分掲記につきましては、一部要約しております。

5. 補足情報

(1) 連結受注・売上実績

① 受注実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	55,041	55,661	95,297
製造・販売他事業(百万円)	6,610	6,731	17,853
合計(百万円)	61,652	62,392	113,151

② 売上実績

(百万円未満切捨て)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前連結会計年度
建設事業(百万円)	40,921	41,965	91,304
製造・販売他事業(百万円)	6,610	6,731	17,853
合計(百万円)	47,532	48,696	109,157

(注) 当連結企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

(2) 個別受注・売上実績

① 平成27年3月期第2四半期の個別受注実績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	受注高	
平成27年3月期第2四半期累計期間	61,607百万円	0.1%
平成26年3月期第2四半期累計期間	61,530百万円	35.4%

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

② 発注者別

(単位:百万円)

		前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
当期受注高	国内官公庁	17,481	28.4	18,934	30.8	1,452	8.3	25,910	23.0
	国内民間	37,387	60.8	35,935	58.3	△1,451	△3.9	69,062	61.2
	海外	49	0.1	—	—	△49	△100.0	49	0.0
	工事部門計	54,919	89.3	54,870	89.1	△48	△0.1	95,023	84.2
	製品部門	6,611	10.7	6,736	10.9	125	1.9	17,854	15.8
	合計	61,530	100	61,607	100	77	0.1	112,877	100
当期売上高	国内官公庁	9,834	20.7	12,558	26.0	2,723	27.7	23,158	21.3
	国内民間	30,855	65.1	28,816	59.7	△2,038	△6.6	67,518	62.0
	海外	121	0.3	131	0.3	10	8.9	331	0.3
	工事部門計	40,811	86.1	41,506	86.0	695	1.7	91,008	83.6
	製品部門	6,611	13.9	6,736	14.0	125	1.9	17,854	16.4
	合計	47,422	100	48,243	100	821	1.7	108,863	100
次期繰越高	国内官公庁	19,191	44.7	20,672	44.8	1,480	7.7	14,295	43.6
	国内民間	23,280	54.3	25,412	55.0	2,131	9.2	18,293	55.7
	海外	430	1.0	88	0.2	△342	△79.6	220	0.7
	工事部門計	42,903	100	46,172	100	3,269	7.6	32,809	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	42,903	100	46,172	100	3,269	7.6	32,809	100

③ 工種別

(単位：百万円)

		前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		比較増減(△)		前事業年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
当期受注高	アスファルト舗装	32,225	52.4	27,438	44.6	△4,787	△14.9	54,324	48.1
	セメントコンクリート舗装	2,314	3.8	2,453	4.0	139	6.0	3,779	3.4
	土木工事	19,205	31.2	24,098	39.1	4,892	25.5	35,021	31.0
	建築工事	1,172	1.9	880	1.4	△292	△25.0	1,897	1.7
	工事部門計	54,919	89.3	54,870	89.1	△48	△0.1	95,023	84.2
	製品部門	6,611	10.7	6,736	10.9	125	1.9	17,854	15.8
	合計	61,530	100	61,607	100	77	0.1	112,877	100
当期売上高	アスファルト舗装	21,813	46.0	23,255	48.2	1,442	6.6	51,480	47.3
	セメントコンクリート舗装	1,630	3.5	1,498	3.1	△131	△8.1	3,712	3.4
	土木工事	16,797	35.4	15,527	32.2	△1,269	△7.6	34,359	31.6
	建築工事	569	1.2	1,225	2.5	655	115.0	1,455	1.3
	工事部門計	40,811	86.1	41,506	86.0	695	1.7	91,008	83.6
	製品部門	6,611	13.9	6,736	14.0	125	1.9	17,854	16.4
	合計	47,422	100	48,243	100	821	1.7	108,863	100
次期繰越高	アスファルト舗装	29,059	67.7	25,673	55.6	△3,385	△11.6	21,491	65.5
	セメントコンクリート舗装	1,790	4.2	2,127	4.6	336	18.8	1,171	3.6
	土木工事	11,392	26.6	18,216	39.5	6,823	59.9	9,645	29.4
	建築工事	661	1.5	155	0.3	△505	△76.5	500	1.5
	工事部門計	42,903	100	46,172	100	3,269	7.6	32,809	100
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	42,903	100	46,172	100	3,269	7.6	32,809	100